

課題5 街の多文化状況を調べる

みなさんは自分が住んでいる街（市町村）にどんな外国の人がいて、自治体がどんな対応をしているか知っていますか？ この課題では、自分の住んでいる街の多文化状況を調べてみましょう。具体的には以下の3つの情報をウェブサイトから自分で調べましょう。なお、今、住んでいる街にこういった情報が見つからない場合（小さい市町村は情報を公開していないところもあります）は、近くにある少し大きな街や都道府県について調べてみましょう。〇〇市の情報がなくても〇〇県の情報なら見つかることがあります。

（1）住んでいる外国籍住民（外国人）の方はどんな国籍が多いですか

街によっては検索キーワード「〇〇市 国籍別外国人人口」などですぐにヒットする場合がありますが、エクセルシートになったものをアップしているところもあります。データが複数見つかった場合、「国籍別」と書いたものを見ましょう。日本全体では、ここ数年 1、中国 2、韓国 3、ベトナム 4、フィリピン 5、ネパールがトップ5です。自分が住んでいる街と比べてみましょう。

また、わかる場合は、全体に占める外国籍住民の割合を調べてみましょう。日本全体で外国籍住民の割合は2%くらいです。みなさんの住んでいる街が2%以上だと、外国人の多い町ということになります。

どんな結果が出ましたか。また、データから自分の住んでいる街にはどのような特徴があるとわかりますか。

（2）住んでいる市町村のウェブサイトは、日本語以外の言語で読めるようになっていませんか、その場合何語がありますか

自分が住んでいる市町村のウェブサイトを見ると、トップページに言語を選べるようになっていています。英語や中国語があることは多いですが、ポルトガル語を用意している自治体もあります。市町村によっては、「やさしい日本語」という選択肢をつけているところもあります。

みなさんの市町村ではどうですか。また、調べてみてどのようなことに気づきましたか。

（3）外国籍住民が日本語を勉強する日本語教室はいくつありますか

外国籍住民は日本語を勉強する際、公民館や役所などの公的機関内にある日本語教室を利用します。それらは、みなさんが住んでいる街の名前と日本語教室というキーワードで検索すれば出てきます（例「〇〇市 日本語教室」）。大きな自治体だとあまりにたくさん出てくるので、市が大きい場合は区の単位に範囲を狭めるなど工夫をしてください。なお、留学生が勉強する「日本語学校」ではなく、「日本語教室」を探しましょう。

どんな結果が出ましたか。また、そこからどのようなことに気づいたり、考えたりしましたか。

《注意》

- ウェブサイトは必ず市町村などの自治体が運営しているものを調べましょう。
- どの自治体のウェブサイトを見たか、URL とともに明記すること。

《参考図書》

- 石川義孝編 『地図で見る日本の外国人 改訂版』 ナカニシヤ出版